

(令和5年4月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>4月は海外需要の増加により、総入荷量は前年同月比で23%下回り、総取扱金額は前年同月比並みとなった。</p> <p>5月は京のブランド製品のひとつである丹後とり貝の出荷が始まる。丹後とり貝は一般のとり貝と比べ、一回り以上大きく、肉厚で甘味があることが特徴である。出荷期間が短く、今しか食べられない旬をぜひ味わっていただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は25%上回った。</p> <p>品目別には、ぶり、たらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。かつお、もんこういかの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷さわらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷あかえびの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で33%下回り、単価は48%上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、すけそうこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。丸干ししゃもの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	三重、和歌山、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は42%上回った。
さ ば	鳥取、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は26%上回った。
び ん ち ょ う	鹿児島、宮崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は22%上回った。
さ わ ら	大阪、和歌山、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で49%下回り、単価は63%上回った。
まだい（天然）	兵庫、長崎、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は52%上回った。
あ さ り	北海道、中国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は、輸入物の値上がりにより14%上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は7%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ け	入荷量は前年同月比で33%下回り、単価は16%上回った。
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で48%下回り、単価は16%上回った。
(加工水産物)	
ち り め ん	入荷量は前年同月比で35%下回り、単価は143%上回った。
干 し か れ い	入荷量は前年同月比で25%下回り、単価は9%上回った。